

なんだ・かんだ

◆ 稲森和夫に学ぶ人間学 ◆

私が定期購読している「致知(ちち)」という月刊誌があり、毎回政治・経済・文学・宗教等の各界の一事を成した方の投稿や対談などが掲載されています。その雑誌の今月の特集が「稲森和夫に学ぶ人間学」でした。

1代で1兆円企業を作り上げた「京セラ」の創業者であり現名誉会長、通信分野で巨艦NTTに立ち向かいKDDIを創業、そして80歳も近くなり周囲の反対も顧みずに、政府の要請を受け無給で経営危機のJALの奇跡の再建を成し遂げた方です。

巻頭では、2014年に母校の高校での講演会でこれからの未来を担う青年たちへ向けた言葉が紹介されていました。

まずは「思い」というモノの2つの重要な側面について。

1つは、我々が日々の生活を送る中で抱く「思い」の集積されたものが、我々の人間性・人柄・人格を作り出している。自分だけ良ければよいという悪い「思い」を日々巡らせている人は、えげつない人間性・人柄・人格に。逆に思いやりに満ちた優しい「思い」を抱く人は、知らず知らずに思いやりにあふれた人間性・人柄・人格になっていく。

そしてもう一つの側面は、「思い」の集積が、その人の「境遇」・「運命」を作っていく。「思い」には大きなパワーが秘められていて、人生の結果も、人間関係も、地域社会の関係も、すべて自分の「思い」が作り出しているのである。という教えです。

この講演で、まず「思う」ということの大切さ。人間誰しも純粋で美しい「思い」を心に強く抱き、一生懸命に努力しさえすれば必ず実現できるということを、神様は約束して下さっている。それが自然の摂理であり、この世界を統べる法則だ。と若者たちに言葉を送っています。

良く「願いは叶う」と言いますが、さすがに私も願えばすべてのものが叶うとまでは思いません。しかし少なくとも願わなければ、思わなければ、物事は成就しないことは確かだと思えます。そしてその思いは強ければ強いほど願いはかなう確率は高くなるということです。

特集では、その他の多くの至極の言葉が綺羅星のごとく並んでいます。

○人生・仕事の結果＝考え方×熱意×能力：熱意と能力は+しかない中
考え方が-（間違った方向）であれば結果は180度変わってしまう。

○自然性の人：「事を成す」ならば自ら燃える人間でなければならぬ

○動機善なりや、私心なかりしか：仕事をする上での羅針盤として、常に自分自身に問いかける言葉

○利他の心：相手の利益を重んじ自己を奉げる心を行動原則とする

等々、これらの幾つかは当社の「クレド」にも掲載させて頂いていますし、私が仕事をする上での判断基準とさせて頂いています

いつの時代でも、人生を切り開いていく為には、先哲の良き教えに学ぶことが大切だと思います。



三寒四温。もとは中国や朝鮮で冬場にシベリアから吹き出す寒気が7日ぐらいの周期で、強まったり弱まったりする気候を表す言葉として用いられた様ですが、日本では早春になると低気圧と高気圧が交互にやってきて、周期的な気温の変化を繰り返すことをいう様になったようです。

しかし今年は少し様子が違います。このところ、平日は穏やかな暖かい日が続き、週末になると風の様な風が吹き、雨が降ります。三寒四温(サンラシオン) 来週の週末も荒れた天気になる予報が出ています。それでも、嵐が明ければ暖かくなり、日増しに春が近づいてくるのを感じます。

さて、来週には新年度が始まります。思えば今年度はコロナに始まりコロナに終わる年でした。当社では年度後半から急激にコロナの波が押し寄せ、中国のV字回復も当社の脇を通り過ぎて行ってしまい未だ厳し状況です。米英などワクチン接種が先行する国ではその効果が表れ始めています。海外に住む知人も一人二人と実際に接種を受けてワクチンも現実のものと感じてきています。日本でも今年後半はワクチンも普及し正常な状況に戻ってくれと信じています。

三寒四温

代表取締役 服部 敏一郎

社員ブログ

● 災害時の袋食 ● 総務部 遠藤 都機恵

人昨年ですが、息子の学校の授業で防災訓練をした時に、炊き出しをしてごはんを食べたそうです。

その時に、学校から「災害時 袋食レシピ2020」のパンフレットと、包装食袋をもらってきました。

今まで作ったことがなかったので、パンフレットに載ってるレシピのうち、白米・カレー・蒸しパンを作ってみました。

白米は、洗っていない米・水

カレーは、玉ねぎ・人参・じゃがいも・ツナ・カレールウ

蒸しパンは、ホットケーキミックス・牛乳・抹茶

袋に入れて口を縛り、沸騰したお湯に30分くらい蒸し煮にして、出来上がり。

白米は、お米の量が多かったようでかなり固めの仕上がりに。カレーと蒸しパンは美味しくできました。

長方形の袋の口が狭いので入れる時お米をこぼしたり、蒸しパンは袋の中で具材が混ざりにくかったり、家族とあれこれ言いながら作りました。

「百聞は一見に如かず」で、一度作っておくといざという時に役に立つかなと思いました。

今度は、自分好みの美味しい混ぜご飯を作りたいと思います。



■ 先月号の訂正とお詫び ■

先月号の社員ブログで、建設部「山田直子」と紹介しましたが、「森直子」の間違えでした。旧姓を間違えて書いてしまいました。出戻った訳ではありませんのであしからず。

また、メールで配信している皆さんに、同じ原稿を3ページにわたって送ってしまいました。申し訳ございませんでした。メールで送る為にワード原稿をPDFに印刷・保存してから添付するのですが、PDF印刷の前にワード原稿を3枚印刷した時の印刷枚数設定が残ってしまいました。

細かいミスが続いています。大きいミスを起こさない様気を付けます。

本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思えます。次回からの発送を中止させて頂きます。

株式会社チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail g.hattori.1@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/